

沈黙の臓器 日ごろの肝機能ケアが重要に

肝機能改善素材・商材一覧

社名	所在地	電話	素材名	エビデンス			機能性表示制度					研究レビュー			特徴
				有効性	安全性	なし	すでに対象に なっている	対象になりそう 可能性がある	期待できない 対象になる 可能性がある	不明	できない	提供を開始 する予定 できる	分らない		
イコオ	東京都	03-5227-5515	植物発酵エキス「酵素」	○	○					○					国産の野菜や果物など、60種類から抽出、発酵、熟成させたエキス
ビーエイチエヌ	東京都	03-5281-5661	「プロコリスプラウトパウダー」	○			○								肝機能マーカーの改善で、機能性表示受理済み
星元	新潟県	025-793-1171	「有機モリンガ」			○									アルコール対策、肝硬変対策、肝機能保護に効果がある。自然栽培
松浦薬業	愛知県	052-883-5151	「ケンボナシエキス」	○									○		近年、薬理や臨床でその結果が立証されてきている。味も甘くドリンク剤やゼリー剤にも配合しやすい
リンクス	大阪府	06-4805-8181	水溶性珪素濃縮液「umo濃縮溶液」	○	○										独自製法で、二酸化珪素を多量に含む水晶石から抽出。豊富なエビデンスがあり、安全安心な健康食品

※アンケートの内容を基に作成 — は無回答

APAコーポレーション 水溶性珪素「umo(ウモ)」 ヒト臨床で肝機能改善を確認 体重・腹囲の減少効果も

水溶性珪素の原料メーカーであるAPAコーポレーション(エーピーエー)が、本社愛知県岡田恵己社長(☎0566-931100)は、水溶性珪素「umo(ウモ)」について、生活習慣病合併脂肪肝の患者を対象にしたヒト臨床試験を実施している。同試験では、肝機能障害の指標である「ChE(コリンエステ

ラーゼ)」の改善を確認。同じく肝機能障害の指標である「AST」についても改善傾向が確認された。同試験では、体重・腹囲の減少効果も確認。被験者に有害事象はなく、安全性も確認されたという。

同研究成果は、査読の

ある学術誌「アジア国際健康促進・未病改善医学雑誌」に論文として掲載されている。

同研究では、脂肪肝の患者40人を対象にランダム化比較試験を実施。脱落者を除く計25人を評価を行った。

水溶性珪素摂取群には、1日約9gの濃縮溶液(水溶性珪素として1日約80mg)を、6カ月間摂取させたとい

有害物質の解毒・分解などの機能を持つ肝臓は、人体において極めて重要な臓器といえるだろう。一方で、沈黙の臓器などと言われることもあり、病気の進行に気がつくいことも知られる。アルコールの過剰摂取などが肝臓に悪影響を与えることも知られており、お酒を飲む人にとっては特に、日ごろからの肝機能ケアが重要といえそうだ。肝機能に対する有用性が確認されている健康食品素材を一挙に紹介する。

日本生物 科学研究所
カボス種子抽出物「カボシードEX」
肝障害指数上昇抑制を確認
肝障害予防に関する特許も取得

日本生物 科学研究所(本社大阪府、東建一郎社長、☎06-6451

1771)が、肝機能改善素材として提案しているのがカボス種子抽出物「カボシードEX」だ。動物試験では、肝障害の指標数値の上昇抑制効果を確認。肝障害予防に関する特許も取得している。大分県、大分大学の産官学連携の研究開発により製品化した肝機能サポート素材だ。

「カボシードEX」は、大分県産のカボスの種子から、機能性成分であるリモノイド類を抽出し粉

肝機能改善素材特集

インデナジャパン 高吸収クルクミン素材「メリーバ」 NAFLDに有効性確認 研究成果は海外の学会でも発表

イタリア・ミランに本社を置く医薬品・健康食品・化粧品メーカーのインデナジャパン(本社東京)は、肝機能改善素材として、ウコン由来の高吸収クルクミン素材「メリーバ」を提案している。非アルコール性脂肪肝(NAFLD)への有効性を、ヒト臨床試験で確認している。

「グルクミノイド」
吸収性30倍以上に

「メリーバ」は、独自技術により、ウコンに含まれる有効成分「グルク

ミニド」を高純度で抽出し、吸収性を30倍以上に高めている。

肝機能改善だけでなく、関節炎や筋肉痛、血管機能、慢性炎症など幅広い有効性を持つことが研究により明らかになっている。

NAFLDへの有効性は、無作為化プラセボ対照臨床試験で実証している。研究成果は海外の学会で発表している。

同試験は、肝臓超音波検査でグレード1~3と診断された被験者87人を対象に実施した。メリーバもしくはプラセボを8週間投与。その結果、メ

機能の指標である、AST(GOT)とALT(GPT)の血清中濃度が投与前比で有意に低下。両指標とも、プラセボ群よりも有意な低下が確認された。

超音波検査による所見では、プラセボ投与群の被験者の改善率が4.7%だった。これに対して、メリーバ投与群では、75%の被験者に改善が確認された。

メリーバ投与群では、BMIの低下や、腹囲の減少も確認された。メリーバの投与と総コレステロールのLDL

タマ生化学 オレオノール酸「オレオノール」 肝損傷の保護作用 アルコール性肝障害

医薬品や健康食品、食品添加物の製造・販売を手掛けるタマ生化学(本社東京都、厚見昌平社長、☎03-5321-6051)は、肝機能改善素材として、オリーブ葉由来のオレオノール酸「オレオノール」55を提案している。オレオノール酸の肝損傷の保護作用については、動物試験の報告が複数ある。アルコール性肝障害の予防作用も

「オレオノール」55は、オリーブ葉100%の粉末エキス。トリテルペンの一種である有効成分「オレオノール酸」を55%以上含有するが同素材の特徴だ。

トリテルペンとしては85%以上含有で規格化している。

「シリマリン」も提案
論文1万2000報

なお同社では、肝機能改善素材として他に、マリナアザミエキス「シリマリン」の提案も行っている。

シリマリンに関しては、これまでに1万2000報以上の論文が発表されているという。

欧州では、肝保護効果を持つ医薬品として認可された実績もあるとしている。

なお、同素材の販売は、インデナジャパンの商業代理店であるユニキス(本社東京都、橋本賢次郎社長、☎03-5299-5811)が担当し

リセリド④非高比重リポ蛋白コレステロール⑤尿酸の血清中濃度」の改善にも、有意な関連性が認められたという。

動物試験で肝障害予防効果を確認している。

同試験では、D-ガラクトサミン誘発肝障害モデルラットに、カボス種子抽出物を投与。その結果、肝障害の指標である血清ALT(GPT)の上昇が抑制されることが確認された。同じく肝障